ふりがな　はしぬま　かつみ

氏 名　**橋沼 克美**

1. 学歴

1980 年　3 月　東北大学文学部卒業

1980 年　4 月　東北大学大学院文学研究科前期課程入学

1982 年　3 月　同修了

2. 職歴・研究歴

1982 年　4 月　東北大学文学部助手

1984 年　4 月　福岡大学人文学部専任講師

1990 年　4 月　一橋大学経済学部専任講師

1993 年　4 月　一橋大学経済学部助教授

1994 年　9 月　ケンブリッジ大学英語学部客員研究員（1995 年 7 月まで）

1995 年　9 月　ダブリン大学トリニティ・カレッジ英語科客員研究員（1996 年 3 月まで）

2006 年　7 月　一橋大学大学院経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

英語ⅠA，英語Ⅱリーディング，英語Ⅲリーディング，経済文化

（b）大学院

各国経済思潮

B. ゼミナール

学部前期，学部後期，大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

英語ⅠA では，夏学期はフィクション，冬学期は新聞雑誌記事を講読し，主に英文読解力をつけることを主眼にしている。語彙力養成のため，英英辞書の使用を奨励している。授業では訳読はあまり重視せず，音読，単語・慣用句・構文・類義語と反義語・派生形・語源などの理解を重視する。また英文レポートを書く作業を通じて表現力の養成も目指す。

経済文化では *The Financial Times* 紙などを扱い，経済関連の語彙や表現を学ぶことにより，やや高度な経済英語力の養成を目指す。

学部ゼミナールは共通ゼミとして開いている。テーマは 17-20 世紀イギリスおよびアイルランドの文化と間口が広いが，具体的な研究テーマは参加者と相談して決める。3 年次は基本的文献の精読，4 年次は卒業論文の製作のための調査と定期的な中間報告に充てる。

各国経済思潮では 18 世紀英国経済思想について，当時の文献を読みながら考察する。大学院ゼミナール

では受講者と相談の上，テーマを決めてイギリス関連の問題について研究する。

4. 主な研究テーマ

(1)17･18 世紀英国の文学と思想

(2)ジョナサン･スウィフト

(3)サー･ウィリアム･テンプル

5. 研究活動

A. 業績

（b）論文（査読つき論文には*）

*「字義化された書物―スウィフトの『桶物語』における活字印刷上の工夫―」『試論』第 22 集，1983 年 7 月，43-65 頁。

*「スウィフトの初期風刺作品にみられるホッブズ的要素」『試論』第 26 集，1987 年 7 月，19-41 頁。

"Thomas Hobbes and the Satire on Enthusiasm in Swift's *A Tale of a Tub*"『福岡大学総合研究所報』第 107 号，1988 年 3 月，11-25 頁。

"Thomas Hobbes and Swift's *A Tale of a Tub* : An Essay on the Problem of Criticism"『福岡大学総合研究所報』第 108 号，1988 年 3 月，15-27 頁。

「スウィフトの医学的風刺」『一橋論叢』第 105 巻第 3 号，1991 年 3 月，326-340 頁。

* "Swift and the State-Physician"『試論』第 31 集，1992 年 6 月，23-29 頁。

"Jonathan Swift and Freemasonry," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 38, No. 1, 1997, pp. 13-22.

「ジョナサン･スウィフトと医師たち」『一橋論叢』第 118 巻第 3 号，1997 年，438-454 頁。

「サリー州ムアパーク―サー･ウィリアム･テンプルの屋敷とその歴史」『言語文化』第 35 号，1998 年，69-80 頁。

「サー･ウィリアム･テンプル（1628-1699）」『一橋大学研究年報･人文科学研究』第 36 号，1999 年，179-220 頁。

"The Economic Theme in *Gulliver's Travels*," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 42, No. 1, 2001, pp. 41-58.

「ジョナサン･スウィフトと政治経済」『一橋大学研究年報･人文科学研究』第 39 号，2002 年，99-157 頁。

「『桶物語』の政治的意義」『言語文化』第 42 号，2005 年，61-75 頁。

* "Swift on Conspiracy" 日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究第 3 号―躍動する言語表象』（開拓社，2006 年），172-94 頁。

「近代初期英国におけるフリーメイスン」『言語文化』第 44 巻，2007 年，3-17 頁。

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告･招待講演には*）

18 世紀イギリス文学文化研究会

（d）研究集会オーガナイズ

18 世紀イギリス文学文化研究会

6. 学内行政

（b）学内委員会

語学研究室運営委員（2006 年 4 月 － 2008 年 3 月）

大学入学試験実施専門委員会（センター部会）委員（2006 年 3 月 － 2008 年 3 月）

7. 学外活動

（a）他大学講師等

中央大学法学部

（b）所属学会および学術活動

日本ジョンソン協会（2009 年より新人賞選考委員長），The Ehrenpreis Center（Westfälische Wilhelmus 大学），18 世紀イギリス文学文化研究会（発表およびオーガナイズ）